

# 世界と銀座 「街」の未来を共創する

## － これからも「街」はあり続けられるか？

ものを売り買いする経済消費の場としての「街」は、今まさに転換期を迎えています。ネットショッピングの台頭以降、人々の消費行動が急速に変化しました。さらに地球環境への意識の高まりから、ものを消費し続けることへの態度、豊かさへの価値観も変わりつつあります。コロナ禍は、徐々に動き出していた世界の変化を一気に加速させた災禍と言えるでしょう。この急速な変化に世界中が混乱するなかで、各都市は「街」の未来をどのように描いているのでしょうか。

そして、歩いて楽しい街、対話で育む関係性を原点として発展してきた銀座も従来の商売方法や街のありようを問われています。日本一の商店街として、大きな資本に頼ることなく店主同士の対話と将来への責任で築き上げてきた銀座という街の価値を、どのような形で未来につないでゆけるのでしょうか。

先の見えない時代において、新たな課題に立ち向かうための軸となる新しい銀座像の創造が求められています。世界的な苦境の最中である今こそ銀座は、距離や境界を越えて世界中の都市と地域のありようを俯瞰し、互いの資源を再発見しながら「街」の持つ力と可能性を3回シリーズのシンポジウムで探ります。

- Part 1: Real? リアルな都市空間としての銀座の「街」を問い直す (10月20日開催)  
 Part 2: Local? 「街」の個性、銀座らしさの継承について考える (11月開催予定)  
 Part 3: Happy? 銀座が目指すべき「街」の豊かさを再定義する (12月開催予定)

## Real?

### Part1

## リアルな都市空間としての銀座の「街」を問い直す

人との話すこと、物を手に入れること、鑑賞すること。あらゆる行為が場所という縛りから解放されつつあります。このような時代の流れから銀座を銀座たらしめてきたもの、つまり人と人、人と街との関係、にぎわいのある通り、対面による商売、人の集まりから生まれる都市文化が今、危機に瀕しています。銀座の街はこれからも都市文化を生み出すリアルな場所であり続けられるか。そのための都市空間への新しいアプローチ、今私たちが起こすべきアクションとは――？

#### 開催日時

2021 / 10 / 20 (水) 17:00 - 19:00

#### 開催方法

オンライン (ZOOM) のみ開催

#### 基調講演

吉村 有司

### バルセロナから学ぶアーバン・サイエンスの可能性

東京大学先端科学技術研究センター特任准教授。建築家。ポンペウ・ファブラ大学情報通信工学部博士課程修了。バルセロナ都市生態学庁、マサチューセッツ工科大学研究員などを経て2019年より現職。ルーヴル美術館、バルセロナ市役所情報局アドバイザー。バルセロナ市グрасシア地区歩行者計画など、ビッグデータやAIを用いた建築・まちづくりの分野に従事。

#### 事例紹介

Jan Polivka

ヤン・ポリワカ

### ドイツの都市政策と今の状況

ドイツ・アーヘン工科大学建築学部准教授。ノルトライン＝ヴェストファーレン州立都市・地域開発研究所の空間計画および都市設計部門の責任者。ベルリン工科大学、ニューヨーク州立大学、コロンビア大学で都市計画と地域計画を学び、カレル大学プラハとフンボルト大学ベルリンで日本を研究。主な研究テーマは都市計画システムとプロセス、中心市街地の再生と住宅開発。

#### 司会進行

中島 直人

銀座街づくり会議アドバイザー、  
東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻准教授

#### パネリスト

小林 博人 銀座街づくり会議アドバイザー、建築家、慶應義塾大学教授  
 石山 さつき 銀座街づくり会議アドバイザー、日仏都市研究者  
 東條 幹雄 全銀座会街づくり委員長、銀座通連合会副理事長、銀座ワシントン靴店副会長

－ お申込み － ※参加費無料

QRコードまたはメールからお申込みいただけます。メールの場合は、①氏名、②ご所属、③メールアドレス、④電話番号を下記のアドレスにお送りください。

event@ginza-machidukuri.jp

\*10月19日(火)に、参加のID等お知らせします。

開催概要・お申し込み

